

銀漢亭日錄

伊藤伊那男

- 3月21日(火)** ▼十時過ぎ、東武線武藏嵐山駅集合。伊那北会。バスにて杉山城へ。あと歩いて鎌形八幡神社、木曾義仲の産湯の清水。川沿いの桜並木を歩いて畠山重忠の菅谷館跡。その中の「埼玉県立嵐山史跡の博物館」を見学。十七、八キロは歩いたか。この駄には酒場が無く、川越に出て駄近くの酒場。静岡おでんや焼き鳥屋、佳。あと「築地銀だこ」の居酒屋と二軒。

22日(水) ▼WBC戦決勝戦を見る。終日、「銀漢」五月号の選句。夜、久々、家族揃う。明日葉のおひたし、春菊の胡麻和え、武蔵風短く切って貰う。豚肉のソテー、葱と油揚げのぬた。百合根の卵とじ。切り干し大根煮付など。

23日(木) ▼十時、大宮駅中央改札口。「彩の国句会」と「大倉句会」の合同吟行会に参加。バスにて見沼たんぼの取水口へ。伊藤庄平さんの案内で用水べりの桜並木を散策。ただし、終日、冷たい雨の中。十四時過ぎ、庄平さんが教會長を務める「カトリック北浦和教会」へ。集会場にて五句出し句会。十八人。あと、駄近くの「あじめん北浦和店」にて親睦会。多田美記さん森直之さんとは三年振りの対面であるか。

24日(金) ▼選句続く。夕方、アメイクの中川さんに思いつきり短く切って貰う。豚肉のソテー、葱と油揚げのぬた。百合根の卵とじ。切り干し大根煮付など。

25日(土) ▼十時、大宮駅中央改札口。「彩の国句会」と「大倉句会」の合同吟行会に参加。バスにて見沼たんぼの取水口へ。伊藤庄平さんの案内で用水べりの桜並木を散策。ただし、終日、冷たい雨の中。十四時過ぎ、庄平さんが教會長を務める「カトリック北浦和教会」へ。集会場にて五句出し句会。十八人。あと、駄近くの「あじめん北浦和店」にて親睦会。多田美記さん森直之さんとは三年振りの対面であるか。

26日(日) ▼十時、大宮駅中央改札口。「彩の国句会」と「大倉句会」の合同吟行会に参加。バスにて見沼たんぼの取水口へ。伊藤庄平さんの案内で用水べりの桜並木を散策。ただし、終日、冷たい雨の中。十四時過ぎ、庄平さんが教會長を務める「カトリック北浦和教会」へ。集会場にて五句出し句会。十八人。あと、駄近くの「あじめん北浦和店」にて親睦会。多田美記さん森直之さんとは三年振りの対面であるか。

27日(月) ▼「銀漢」五月号の選評など、全部終了。ずっと机にしがみついている。夜、昨日の見沼で買ったエシャレット。のらぼうの胡麻和えなど。雨降り続く。

28日(火) ▼十時、大宮駅中央改札口。「彩の国句会」と「大倉句会」の合同吟行会に参加。バスにて見沼たんぼの取水口へ。伊藤庄平さんの案内で用水べりの桜並木を散策。ただし、終日、冷たい雨の中。十四時過ぎ、庄平さんが教會長を務める「カトリック北浦和教会」へ。集会場にて五句出し句会。十八人。あと、駄近くの「あじめん北浦和店」にて親睦会。多田美記さん森直之さんとは三年振りの対面であるか。

29日(水) ▼十二時、熱海駅待ち合わせ。井蛙、清人さん。唐沢静男さんの車の迎えを得て、網代の唐沢家へ。鳥賀、鰯の刺身、頬んじでおいた干物類（鰆、鰯味醡、室鱈のくさや、鰯丸干）他。洋子夫人お元気。結局三人で二升空けて焼酎に移る。十九時辞す。実卓を開む。皆川丈弘さんから到来のチユーリップの球根が花開に楽しい酒盛り。

30日(木) ▼十二時、熱海駅待ち合わせ。井蛙、清人さん。唐沢静男さんの車の迎えを得て、網代の唐沢家へ。鳥賀、鰯の刺身、頬んじでおいた干物類（鰆、鰯味醡、室鱈のくさや、鰯丸干）他。洋子夫人お元気。結局三人で二升空けて焼酎に移る。十九時辞す。実卓を開む。皆川丈弘さんから到来のチユーリップの球根が花開に楽しい酒盛り。

31日(金) ▼「神保町に銀漢亭があつたころ」ついに出版成る。「梅檀」俳句大会の募集句の選句（七百六十句）。青葱と焼油揚のぬけ、蓮根の胡麻和え。華子土産の金沢の麸と鰯鍋。家族七人久々食卓を開む。皆川丈弘さんから到来のチユーリップの球根が花開に楽しい酒盛り。

4月1日(土) ▼奈良の深川知子さんより句集出版の運びと。出版記念会の案内あり。慶祝。快晴。自転車で成城界隈の桜を見に。桜並木はバザーの屋台が出て、三年前の脇わいを取り戻している。仙川沿いの並木もいい。筍を買い、公園の山椒の芽を少し貰う。筍と若布の炒合せ、韭のおひたし、鮭と芋の和物、鮭の胡麻和え。

2日(日) ▼「全国俳誌協会第二十九回俳句コンクール」の選句（応募九三十句）、「銀漢」六月号のエッセイ他。華子、成城学園大學生へ進学。入学式で答辞を読んだ。龍正、誕生日と、祝い事二つ有り、ビーフステーキ焼く。莉子がブルスケッタ。蒸しジャガ芋。

3日(月) ▼「第十七回角川全国俳句大賞」の選句に入る。予選通過は、自由題八四八句、題詠五三十句。昨日、安く買った鰯のカルパッチョ、牛蒡と炒合せ、春キャベツ。

4日(火) ▼十一時、発行所。「神保町に銀漢亭があつたころ」の二回目の発送作業日。十人程が既に作業に入つていて下さること。

5日(水) ▼自転車で農家に野菜買ひに。祖師谷大蔵にも。「あ・ん・ど・うクリニック」、郵便局、薬局……。角川に選句稿、選評発送。夜、菜の花の胡麻和え、車麩、丁子麩と筍の甘皮、絹糸の精進鍋。「三丁目の夕日」の「昭和歳時記」エッセイ一本。数句会の選句。

7日(金) ▼七時半、小田急永山駅に五日市夫妻と待合せ。車で信州に向かう。雨。十一時、伊那の「産直市場グリーンファーム」で買い物をして兄夫婦と合流。「行者そば梅庵」という蕎麦店へ。田舎蕎麦、鴨汁、佳。酒少々。近くの鳩吹公園の桜見事。高遠へ向かう。雨のせいか人出少なく、一番上の駐車場へ入れる。昨日が一番の見頃だったことだが、十分楽しむ。絵島の囲み屋敷に回る。駒ヶ根に出で光前寺の枝垂れ桜。「駒ヶ根ブレモントホテル」に荷を解き、母の実家「角十綿屋商店」池上家へ。従兄弟夫婦と一緒に乾杯。十八時、「よし乃」にて七人で宴会。馬刺、ざ虫、蜂の子なども出してくれる。料理佳。酒は「夜明け前」「今錦」。生家跡を見てあと、このメンバーで初めてのカラオケ。(土) ▼晴。六時半、中央アルプス（木曾山脈）の雲が取れる。五日市夫妻にはこの山の風景を見てもらわないと！ ホテルの朝食

11日(火) ▼十四時から、「神保町に銀漢亭があつたころ」出版の収支についての会議。貢数の多さやカラー写真入したことなどなどでクラウドファンディングと一般売上では収支マイナスの結果。夜、「火の会」十二人。あと六人ほどで餃子店。

12日(水) ▼「火の会」十二人。あと六人ほどで餃子店。

13日(木) ▼ずっと「銀漢」六月号の選句続く。近所の植松さんから筍（鳥山の別宅の竹林のもの）到来。今年はすい分筍を食べている。子供歌舞伎が良く、山車も間近。味噌田楽で酒を飲みつつ、山車を追つて長浜八幡宮へ。「茂美志や」で小鮎串焼、諸子、小鮎天ぷら、のつべうどん。十八時からの「夕渡り」を見る。彦根に出て、「だいみようかもん」で小酌。「コンフォートホテル彦根」